



I 地域振興プランの推進に係る重要課題

3つの振興施策の基本方向と15の重点施策項目

- I 安全 (1 復興・伝承、2 自然災害対策)
- II 暮らし (3 被災者支援、4 生活環境、5 自然環境、6 子ども・子育て、7 医療・健康、8 スポーツ・文化)
- III 産業 (9 ものづくり産業、10 雇用、11 水産業、12 農業、13 林業・木材産業、14 観光、15 社会基盤の活用)

3つの重要課題

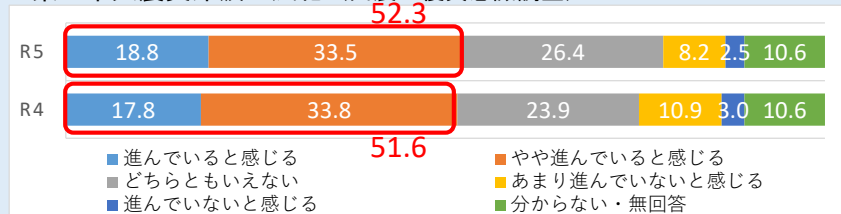
- ① 主要産業の振興 (主要魚種の不漁対策、水産加工業の振興)
- ② 自然減・社会減対策の推進
- ③ 安全・安心な地域づくり

■ 本県におけるサケ漁獲量の推移

	震災前	R3年度	R4年度	R4/震災前
水揚量 (トン)	22,334	293	310	1.4%
水揚金額 (百万円)	7,821	356	325	4.2%

震災前はH20～H22年度平均沿岸漁獲値

■ 東日本大震災津波の風化 (出展：復興意識調査)



III 4つの重点事項の推進(地域経営推進費等)

1 自然減・社会減対策

- 自然減対策
 - ・さんりく結婚応援支援事業
 - ・働き方改革企業の普及促進
- 社会減対策
 - ・産業人材確保育成事業 新
 - ・三陸の魅力首都圏発信事業 新
 - ・地域おこし協力隊サポート事業

2 GXの推進

- 市町村連携による脱炭素化推進 新
 - ・脱炭素推進・再エネ導入促進事業 (市町村への伴走型支援、他)
- 持続的な森林資源の確保 新
 - ・森林・林業理解促進普及活動事業
- 木材利用の理解促進 新
 - ・木材利用促進モデル事業

3 DXの推進

- 水産加工業
 - ・いわて三陸水産販路多角化事業 (ECによる販売力強化)
- 農林業
 - ・園芸経営体育成事業 (スマート農業)
- 観光 新
 - ・インフラリズムデジタルコンテンツ作成事業

4 安全・安心な地域づくり

- 教訓の伝承・発信 新
 - ・復興情報発信・震災教訓伝承事業
- 災害に強いまちづくり
 - ・海岸保全施設の整備等
- 浸水想定等を踏まえた減災対策
 - ・市町村と連携した減災対策推進
- 医療人材等の確保・育成、他 新

II 広域振興事業による重要課題への対応

サーモン養殖の確立と販路拡大

- 県産サーモン養殖確立支援事業費
 - 岩手大学と連携した効率的な海面養殖技術の開発とサーモン養殖経営体への普及
 - 県産サーモンの需要拡大
 - ・県内量販店等でのPRキャンペーン 新
 - ・SNSを活用したキャンペーン 新
 - 加工品等の開発支援 新
 - 餌料経費低廉化などのコスト削減調査 新

水産加工業への支援強化

- 三陸水産加工業等支援事業費
 - 水産加工業者、飲食・宿泊・小売事業者等の企業経営力強化の支援
 - ・Pwc Japanグループと連携した支援
 - ・経営支援アドバイザーによる支援 新
 - DXや水産技術などの専門知識にけた大卒等人材確保の支援 新
 - ・インターンシップ活用に係るセミナー
 - ・DX等専門人材確保セミナー

市町村と連携した三陸への移住定住の促進

管内市町村の意向を踏まえ、沿岸市町村と連携した対策の実施

いわて三陸地域連携移住定住促進事業費 新

- ① 情報発信の強化
 - ・各種広報媒体を活用した情報発信
 - ・首都圏での移住PRセミナーの開催
 - ・移住体験ツアーの開催
 - ・移住者との意見交換会の開催 等
- ② 支援体制の強化
 - ・「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」の開催による沿岸局と市町村との連携強化
 - ・移住コーディネーター交流会の開催 等



<各圏域の人口の状況>

単位：人、% 出展：国勢調査、毎月人口推計

	H22.10			R5.10			増減率		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
岩手県	1,330,147	634,971	695,176	1,163,024	561,325	601,699	-12.56%	-11.60%	-13.45%
県央圏域	481,699	229,702	251,997	452,087	215,233	236,854	-6.15%	-6.30%	-6.01%
県南圏域	507,567	244,240	263,327	447,082	219,252	227,830	-11.92%	-10.23%	-13.48%
沿岸圏域	217,771	102,903	114,868	165,559	80,016	85,543	-23.98%	-22.24%	-25.53%
県北圏域	123,110	58,126	64,984	98,296	46,824	51,472	-20.16%	-19.44%	-20.79%

令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

※ **本庁予算**：本庁予算で実施する事業、**広域**：広域振興事業、**地経費**：地域経営推進費








地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																		
I 安全 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域																					
<p>1 復興・伝承（復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div style="text-align: center;">9 産業と民衆活動の発展をつくり出す</div> <div style="text-align: center;">11 住み続けられるまちづくりを</div> <div style="text-align: center;">17 パートナリングで目標を達成しよう</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>安全・安心</p> </div>	<p>① 復興まちづくりの基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波防災施設は令和5年度末で1施設を除き完成予定 ⇒ 未完成の復旧・復興工事について早期の完成に向けて事業を推進することが必要 <p>■ 海岸保全施設 (単位：箇所、%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">計画箇所数</th> <th colspan="4">完成箇所数 (累計)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">令和4年度末</th> <th colspan="2">令和5年度末予定</th> </tr> <tr> <th>箇所数</th> <th>完成率</th> <th>箇所数</th> <th>完成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52</td> <td>50</td> <td>96%</td> <td>51</td> <td>98%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>閉伊川水門（宮古市）</p> </div>	計画箇所数	完成箇所数 (累計)				令和4年度末		令和5年度末予定		箇所数	完成率	箇所数	完成率	52	50	96%	51	98%	<p>○ 海岸保全施設の整備 (宮古土木セ)</p> <p>■ 津波防災施設の復旧・整備</p> <p>東日本大震災津波で被害を受けた津波防護施設の復旧・整備を推進 (閉伊川水門：令和8年度完成予定)</p> <p>■ 水門の自動閉鎖化</p> <p>土木工事の進捗と合わせ、自動閉鎖化を推進 (閉伊川水門)</p>	<p>本庁予算</p>
計画箇所数	完成箇所数 (累計)																				
	令和4年度末		令和5年度末予定																		
	箇所数	完成率	箇所数	完成率																	
52	50	96%	51	98%																	
<div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>安全・安心</p> </div>	<p>② 東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波伝承館の来館者数は85万人を突破 (R5.9月末時点) 東日本大震災津波から12年8か月が経過し、震災の記憶の風化や関心の低下が懸念 ⇒ 津波伝承館等の訪問の契機を生かしながら、沿岸圏域全体での教訓の伝承と効果的な情報発信が必要 	<p>○ 復興情報発信・震災教訓伝承事業 一部新設 (経営企画部)</p> <p>■ 語り部団体等の育成支援 一新</p> <p>語り部団体等の育成、交流、連携の推進 (宮城県を含む広域での震災語り部ガイドの意見交換会等)</p> <p>■ 復興の姿の情報発信</p> <p>SNS、動画を活用した沿岸圏域の復興の姿の情報の発信</p>	<p>地経費</p>																		




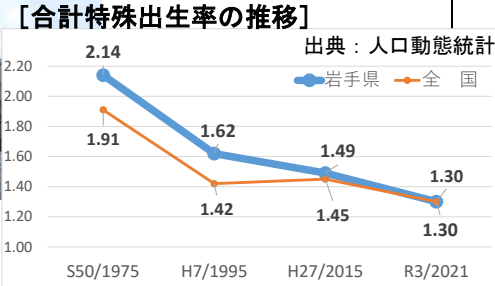
地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>2 自然災害対策 (自然災害に強いまちづくりを進めます)</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 ハートフルなまちづくりを</p> <p>安全・安心</p>	<p>① 災害に強い道路ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年台風第10号による豪雨災害で、国道106号、国道455号など緊急輸送道路が各地で寸断 ⇒ 災害発生時における救援物資の輸送や救援活動が円滑に行われるよう、道路等の整備が必要 	<p>○ 緊急輸送道路等の整備 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 橋梁耐震化等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の耐震化(橋脚の強化等) 古廟橋(大槌町)、轆轤石橋(大船渡市)等 通行危険箇所あい路の解消(道路改良等) (国)340号和井内～押角(宮古市)等 法面崩壊対策(落石防護柵、落石防護ネット等) 	<p>本庁予算</p>
<p>安全・安心</p>  <p>小本川(岩泉町)</p>  <p>天神の沢(3)(釜石市)</p>	<p>② 洪水・土砂災害対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動に伴い洪水・土砂災害が頻発・激甚化 ⇒ 洪水・土砂災害の被害から生命や財産を守るため、早期の施設整備が必要 	<p>○ 洪水災害対策の推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 河川改修等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川改修(二級河川小本川、気仙川等) 河道掘削、立木伐採 <p>○ 土砂災害対策の推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 砂防堰堤等の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂防:天神の沢(3)(釜石市)等 急傾斜地崩壊対策:赤畑(住田町)等 	<p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p>
<p>安全・安心</p>	<p>③ 「自助・共助・公助」を組み合わせた防災・減災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大震災津波発災からの時間の経過に伴い、住民の防災意識の低下が懸念 ⇒ 本県最大クラスの地震・津波浸水想定等を踏まえた防災・減災対策の推進が必要 	<p>○ 津波浸水想定等を踏まえた減災対策(経営企画部)</p> <p>■ 県と市町村の連携による減災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に応じた、より実効性の高い減災対策の検討 <p>○ 防災知識の普及、防災意識の向上(経営企画部)</p> <p>■ 地域防災サポーター等の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村防災担当者会議等の機会を利用し、地域コミュニティでの防災訓練等における地域防災サポーターの活用を促進 	<p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p>



地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
Ⅱ 暮らし 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域			
<p>3 被災者支援 (被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくります)</p> <div data-bbox="107 539 383 630"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> </div>	<p>① 被災者の健康づくりとこころのケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 恒久的な住宅への転居に伴う生活環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による生活様式の変化、外出機会や活動量の減少 ⇒ 心身の疲労、体力の低下などの健康面での課題への支援が必要 <div data-bbox="600 528 1115 898"> <p>健康づくり講座</p> </div> <p>② コミュニティの維持や活性化に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害公営住宅の約9割で自治会等を組織 ⇒ 災害公営住宅などの新たな住環境におけるコミュニティの形成や活性化に向けた支援の継続が必要 人口減少に伴う利用者数の減少等により地域公共交通の維持・確保が懸念材料 ⇒ 住民の日常生活を支える交通手段の確保・維持が重要であり、市町村が行う地域公共交通対策への支援が必要 	<p>○ 被災地健康づくり推進事業 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 食生活や運動などの生活習慣改善や健康体力づくりの支援</p> <div data-bbox="1238 408 1951 600"> <ul style="list-style-type: none"> 体組成計を活用した体験交流型健康づくり講座の開催や被災者支援機関・団体等への健康管理機器の貸与及び活用を支援 スーパー等での健康づくりキャンペーンの実施 </div> <p>■ こころのケアの推進</p> <div data-bbox="1238 675 1951 751"> <p>被災者のこころに寄り添う取組の支援、人材の育成などを関係機関と連携し実施</p> </div> <p>○ コミュニティ支援研修会事業 (経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p>■ 被災者の安定した生活に向けた地域コミュニティの維持・活性化支援</p> <div data-bbox="1238 1062 1951 1174"> <p>市町村や社会福祉協議会の職員等を対象とした、先進的な取組を実践する機関や専門家を講師とした研修会等の開催</p> </div> <p>○ 地域公共交通の維持・確保 (経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p>■ 市町村等と連携した地域公共交通対策の推進</p> <div data-bbox="1238 1326 1951 1402"> <p>地域公共交通活性化協議会等への参画等を通じ、課題解決に向けた情報共有や支援</p> </div>	<p>本庁予算</p> <p>地経費</p> <p>本庁予算</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>4 生活環境（安心で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります）</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>安全・安心</p>	<p>① 食の安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店等における食中毒等の事故が依然として発生 ⇒ 食品関係事業者への監視・指導、住民の食の安全性に対する関心を一層高めることが必要 <p>② 生活の利便性向上につながる社会資本の整備と計画的な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸圏域における汚水処理人口普及率は県全体を下回る ⇒ 汚水処理施設の整備を促進することが必要 ・ 高度経済成長期以降に集中的に整備された橋梁やトンネルなどの社会資本の老朽化が進行 ⇒ 社会資本の計画的な維持管理が必要 <p>③ 動物愛護思想の普及と動物のいのちを大切にす る取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多頭飼育などの不適切な飼養に起因する動物の引き取りが続いている ⇒ 引き取りを減少させるため、動物愛護の取組の推進が必要 ・ 引き取り後の子猫の育成を担当職員のみで行うことが困難であり、動物愛護団体や、一般のボランティアに頼るところが大きい ⇒ 動物愛護団体の負担軽減やボランティアの育成支援が必要  <p>動物ふれあいイベント</p>	<p>○ 食の安全・安心の確保の推進 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の取組の支援</p> <p>食品衛生法に基づく監視・指導及び食品の収去検査や食品関係事業者を対象とした食品表示やHACCPに関する講習会を実施</p> <p>○ 社会資本の整備と計画的な維持管理の推進 （土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ）</p> <p>■ 公共下水や浄化槽施設の整備の促進</p> <p>汚水処理施設(浄化槽)の市町への補助金交付</p> <p>■ 計画的な維持管理、住民協働の維持管理の推進</p> <p>住民団体による道路や河川・海岸の草刈りや清掃等の活動に対して支援</p> <p>○ 人と動物のふれあい活動事業 一部新採 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 動物の飼主の責務である終生飼養や適正飼養の意識付けの推進</p> <p>動物愛護思想の普及啓発や災害時の動物救護対策のため、犬猫譲渡会、動物ふれあいイベント、ペットとの同行避難訓練を実施</p> <p>■ 動物愛護団体・一時預かりボランティア支援 新</p> <p>動物愛護団体、一時預かりボランティアと連携した子猫の育成、譲渡の促進</p>	<p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p> <p>地経費</p>

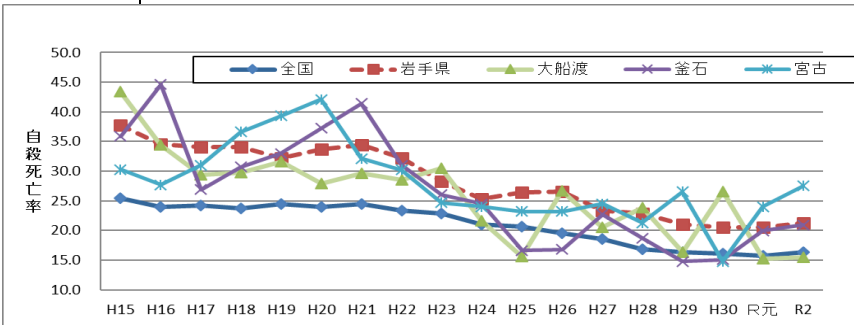
地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																		
<p>自然減・社会減対策</p>	<p>④ 若者・女性などの活躍推進と地域づくり人材の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者・女性（特に15～24歳）の多くが進学・就職を機に人口流出 ⇒ 将来を見据えた活力ある地域づくりに向け、次代を担う若者・女性が地域を理解し、将来も三陸に住み続ける意識の醸成が必要 各市町村が地域おこし協力隊制度を活用 大槌町及び岩泉町では、県内2、3例目となる「特定地域づくり事業協同組合」の設立が進められており、地域おこし協力隊の任期終了後の定住に向けた受け皿として期待 ⇒ 協力隊員の任期終了後の定着により、移住・定住者の増加（社会増）につなげることが必要 <p>【沿岸圏域の地域おこし協力隊 現役隊員数】</p> <p style="text-align: center;">※令和5年5月1日時点</p> <table border="1" data-bbox="454 1026 1137 1155"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>人数</th> <th>地域</th> <th>人数</th> <th>地域</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古</td> <td>31</td> <td>釜石</td> <td>28</td> <td>大船渡</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">圏域合計</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では人口が減少している一方、新型コロナウイルス感染症に係る入国制限の解除もあり、在留外国人数は再び増加傾向 令和6年4月開校予定の「釜石市国際外語大学校」に10月に日本語学科が開設予定 ⇒ 外国人県民等が増加傾向にあり、多文化共生社会の実現に向けた取組が必要 	地域	人数	地域	人数	地域	人数	宮古	31	釜石	28	大船渡	12	圏域合計					71	<p>○ みらいの三陸ぐらし創造事業 （経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ）</p> <p>■ 児童・生徒等を対象とした地域への郷土愛を持つ人材の育成</p> <p>沿岸圏域の研究機関等と連携した三陸の地域資源への理解促進を図るイベントの開催</p> <p>■ 中高生を対象とした将来的な地元での就職意識意欲の向上</p> <p>三陸地域で地域づくり活動、余暇活動（スポーツ、郷土芸能等）に取り組みながら暮らすライフスタイルを提案する冊子を作成・配付</p> <p>○ 地域おこし協力隊サポート事業 （経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ）</p> <p>■ 隊員相互の連携・交流ネットワーク形成支援</p> <p>（一社）いわて地域おこし協力隊ネットワークと連携し、研修会等の開催による隊員の相互交流の促進、OB・OG等による現役隊員の活動支援、隊員の任期終了後の定着を推進</p> <p>○ 国際交流・多文化共生推進事業 （経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ）</p> <p>■ 沿岸圏域の住民の多文化共生に係る理解促進</p> <p>技能実習生等の在留外国人と住民の円滑なコミュニケーションを推進するため、住民を対象とした研修会等の開催</p>	<p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p>
地域	人数	地域	人数	地域	人数																
宮古	31	釜石	28	大船渡	12																
圏域合計					71																



地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>5 自然環境（良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>7 エコエネルギーの活用を推進する</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>9 産業と生活者の協働による持続可能な社会の実現を目指す</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>12 自然環境の保全と持続可能な社会の実現を目指す</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>17 パートナシップで持続可能な社会を実現しよう</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">GX</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">GX</p>	<p>① 自然環境の保全と活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波など度重なる災害により環境活動フィールドや機会が減少 ⇒ 新たに環境保全活動に取り組む団体や人材の確保、関係機関との協働や団体間の連携促進が必要  <p style="text-align: center; font-size: small;">海岸清掃活動</p> <p>② 廃棄物減量化対策などによる循環型地域社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の小規模な不適正処理が依然としてみられる ⇒ 監視・指導を強化するとともに、廃棄物減量化に向けて、多様な主体との連携によるリサイクルの促進や、3R（スリーアール）を基調とする循環型のライフスタイルの定着を図る取組が必要 <p>③ 再生可能エネルギーの導入促進などによる地球温暖化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動による環境変化への懸念 ⇒ エコライフの実践に係る普及啓発や再生可能エネルギー導入の促進など、住民や事業者など様々な主体による温室効果ガス排出量削減のための取組の支援・推進が必要 地域の实情に応じた脱炭素化推進施策を展開が求められている ⇒ 官民の一体的な機運醸成や、市町村における温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定促進など、GXを推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指す取組が必 	<p>○ 沿岸地域環境学習推進事業 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 環境活動団体の活性化、環境保全意識の醸成等</p> <p>三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の貴重な地域資源を活用し、地域の魅力を改めて発見・意識してもらおうとともに、海洋ごみなどの地域課題に対する自発的な環境学習活動の取組を支援</p> <p>○ ごみの減量化やリサイクルの促進 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 適正処理や資源循環に関する意識啓発、ごみの分別回収や発生抑制に資する技術的助言等による市町村の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村、警察などとの不法投棄監視合同パトロールの実施 処理業者、排出事業者等に対する説明会開催 <p>○ 地球温暖化対策の推進 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 温室効果ガス排出削減の普及啓発と機運醸成</p> <p>「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度への事業者参加や「地球温暖化を防ごう隊」への小学校参加の促進</p> <p>○ 脱炭素化推進・再生可能エネ導入促進事業 (一部新規) （経営企画部、保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 脱炭素化施策に取り組む市町村の伴走型支援 (新)</p> <p>市町村との意見交換や相談会の開催等により、管内市町村の地球温暖化対策実行計画策定を促進</p> <p>■ 地域の脱炭素化の機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市町村や企業、住民等に向けた脱炭素化シンポジウムの開催（脱炭素先行地域に選定された宮古市での開催を想定）(新) 再生可能エネルギーの導入促進に向けた市町村職員向けの勉強会の開催 	<p>地経費</p> <p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p> <p>地経費</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考															
<p>6 子ども・子育て・高齢者等（安心して子どもを産み育てることができ、高齢者や障がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくりまします）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナリプで目標を達成しよう</p>  </div> </div> <p style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px; text-align: center;">自然減・社会減対策</p>	<p>① 結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の流出、結婚・出産の適齢人口が減少や未婚率の上昇等により合計出生率が低い水準 ⇒ 住民が安心して家庭を持ち、子どもを産み育てることができる環境整備を図る取組が必要 <div style="text-align: center;">  <p>R5 第1回婚活イベント</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【合計特殊出生率の推移】</p> <p>出典：人口動態統計</p>  <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>合計特殊出生率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>岩手県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S50/1975</td> <td>2.14</td> <td>1.91</td> </tr> <tr> <td>H7/1995</td> <td>1.62</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td>H27/2015</td> <td>1.49</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>R3/2021</td> <td>1.30</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年	岩手県	全国	S50/1975	2.14	1.91	H7/1995	1.62	1.42	H27/2015	1.49	1.45	R3/2021	1.30	1.30	<p>○ さんりく結婚応援支援事業 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 結婚を望む男女への出会いの機会の提供</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 三陸地域への愛着（移住促進）及び地元定着の意識を深めるため、三陸地域の観光資源等も活用した婚活イベントを開催 婚活イベントと合わせて、コミュニケーション能力や身だしなみ等、婚活に必須となるスキルを向上させるための事前セミナーを実施 ”いきいき岩手”結婚サポートセンター（i-サポ）の周知 </div> <p>○ 「ママサポBOOK」の妊産婦への配付、「いって子育て応援の店」協賛店の拡充</p>	<p>地経費</p> <p>本庁予算</p>
年	岩手県	全国																
S50/1975	2.14	1.91																
H7/1995	1.62	1.42																
H27/2015	1.49	1.45																
R3/2021	1.30	1.30																
	<p>② 高齢者の生きがいづくりや社会参加活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域の高齢化率は県平均を上回っており、今後も上昇が続くと見込まれる ⇒ 高齢者が生きがいを感じながら、より健康でいきいきと暮らすことができる社会の構築が必要 	<p>○ 健康づくりや介護予防等の推進 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 社会参加活動を通じた住民主体の健康づくりや介護予防の取組、要介護状態からの自立支援などを推進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>高齢者の健康づくりや介護予防等の取組推進</p> </div> <p>■ 成年後見制度の利用促進及び認知症の人やその家族を支援するための制度の普及啓発を促進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>認知症サポーター、認知症キャラバン・メイトの普及啓発支援</p> </div>	<p>本庁予算</p>															
	<p>③ 障がい者の自立支援や社会参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できることが求められている ⇒ 就労・生活支援体制の充実が必要 	<p>○ 就労・生活支援体制等の拡充支援 （保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <p>■ 障がい者の自立支援や社会参加促進体制の整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 市町村相談支援体制・事業者などによる就労・生活支援体制の拡充支援 障がい者自立支援協議会を通じた地域での受入体制整備支援 </div>	<p>本庁予算</p>															

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																																	
<p style="text-align: center;">DX</p>	<p>④ 医療と介護をつなぐ情報ネットワークを活用した、保健・医療・介護・福祉が一体となった地域包括ケアシステムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術（ICT）を活用した地域医療情報ネットワークの活用が定着 <p>⇒ 全県的な医療情報連携体制の支援のあり方の検討の中で、沿岸圏域の同ネットワークの充実強化に向けた地域の主体的取組を支援していくことが必要</p>	<p>■ ユニバーサルデザインの普及・利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子マップへの登録促進・利用周知 「ひとにやさしい駐車場」の拡大・利用証制度の普及啓発 <p>○ 地域包括ケアシステムの推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 地域包括ケアシステムの効果的な運用の支援</p> <p>地域医療情報ネットワークへの地域住民の参画促進</p>	<p>本庁予算</p>																																	
<p>7 医療・健康（安 心で健やかに暮 らせる地域医療 の確保と健康づ くりを進めます）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p>  </div> </div> <p style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; text-align: center;">自然減・社会減対策</p> <p style="background-color: #8bc34a; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">安全・安心</p>	<p>① 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師偏在指標において沿岸圏域は低い水準にあるとともに、介護職の求人倍率が高いなど、医療・介護人材が不足している状況 <p>⇒ 地域において医療・介護人材の確保・育成のため、生徒に対し早期からの進路選択に資する情報提供や動機付け必要</p> <p>■医師偏在指標（R5.8厚生労働省）※全国335二次医療圏の順（県は都道府県順）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指数</td> <td>107.8</td> <td>134.5</td> <td>144.1</td> <td>182.5</td> <td>255.6</td> </tr> <tr> <td>全国順位</td> <td>335位</td> <td>321位</td> <td>307位</td> <td>47位</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		釜石	宮古	気仙	岩手県	全国	指数	107.8	134.5	144.1	182.5	255.6	全国順位	335位	321位	307位	47位	—	<p>○ 医療・介護人材の確保・支援 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 医療・介護人材の確保・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・介護従事者を目指す中高生と医療・介護従事者を目指す現役大学生や従事者等との懇談、施設見学等の実施 医大生の研修及び臨床研修医の受入 <p>■有効求人倍率（R5.7岩手労働局）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護職</td> <td>2.70</td> <td>2.14</td> <td>1.21</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>全産業</td> <td>1.05</td> <td>0.78</td> <td>0.82</td> <td>1.10</td> </tr> </tbody> </table>		釜石	宮古	気仙	岩手県	介護職	2.70	2.14	1.21	2.27	全産業	1.05	0.78	0.82	1.10	<p>本庁予算</p>
	釜石	宮古	気仙	岩手県	全国																															
指数	107.8	134.5	144.1	182.5	255.6																															
全国順位	335位	321位	307位	47位	—																															
	釜石	宮古	気仙	岩手県																																
介護職	2.70	2.14	1.21	2.27																																
全産業	1.05	0.78	0.82	1.10																																

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																																																									
	<p>② 食生活の改善や運動習慣の定着などによる生活習慣病の予防と被災地の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域は、65歳未満の生活習慣に起因する死亡率が県平均より高い <p>⇒ 働く世代への生活習慣改善の取組強化や健康づくりの取組促進が必要</p> <p>■ 65歳未満年齢調整死亡率(3年平均・人口10万対) データ：人口動態統計(H28-31 釜石保健所作成、R1-R3 健康国保課作成)</p> <table border="1" data-bbox="405 496 1088 831"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>がん</th> <th>心疾患</th> <th>脳血管疾患</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">宮古</td> <td>H28-30</td> <td>45.0</td> <td>20.3</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>46.7</td> <td>21.2</td> <td>16.4</td> </tr> <tr> <td>R1-R3</td> <td>42.4</td> <td>25.1</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">釜石</td> <td>H28-30</td> <td>52.5</td> <td>27.8</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>51.4</td> <td>26.4</td> <td>20.9</td> </tr> <tr> <td>R1-R3</td> <td>45.6</td> <td>21.8</td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大船渡</td> <td>H28-30</td> <td>52.7</td> <td>24.3</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>53.1</td> <td>26.2</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>R1-R3</td> <td>43.4</td> <td>18.8</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩手県</td> <td>H28-30</td> <td>45.9</td> <td>16.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>45.1</td> <td>16.2</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>R1-R3</td> <td>41.4</td> <td>16.2</td> <td>12.3</td> </tr> </tbody> </table>			がん	心疾患	脳血管疾患	宮古	H28-30	45.0	20.3	17.5	H29-31	46.7	21.2	16.4	R1-R3	42.4	25.1	11.7	釜石	H28-30	52.5	27.8	23.7	H29-31	51.4	26.4	20.9	R1-R3	45.6	21.8	15.0	大船渡	H28-30	52.7	24.3	7.0	H29-31	53.1	26.2	8.9	R1-R3	43.4	18.8	15.4	岩手県	H28-30	45.9	16.9	12.9	H29-31	45.1	16.2	13.2	R1-R3	41.4	16.2	12.3	<p>○ 生活習慣病予防等の推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 働く世代の生活習慣と企業の健康経営の取組を促進</p> <div data-bbox="1238 347 1951 536" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 事業所訪問、出前講座等による事業の周知と体組成計等を活用した食と運動の体験型健康づくりチャレンジ事業の実施 健康経営優良取組事例紹介や「いわて健康経営認定事業所」の周知による取組拡大 </div> <p>■ 健康づくりを実践しやすい食の環境整備</p> <div data-bbox="1238 611 1951 762" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 食品事業者対象の講習会を活用した事業周知とメニュー表作成による栄養成分表示の支援 栄養成分表示登録店のフォローアップ </div>	本庁予算
		がん	心疾患	脳血管疾患																																																								
宮古	H28-30	45.0	20.3	17.5																																																								
	H29-31	46.7	21.2	16.4																																																								
	R1-R3	42.4	25.1	11.7																																																								
釜石	H28-30	52.5	27.8	23.7																																																								
	H29-31	51.4	26.4	20.9																																																								
	R1-R3	45.6	21.8	15.0																																																								
大船渡	H28-30	52.7	24.3	7.0																																																								
	H29-31	53.1	26.2	8.9																																																								
	R1-R3	43.4	18.8	15.4																																																								
岩手県	H28-30	45.9	16.9	12.9																																																								
	H29-31	45.1	16.2	13.2																																																								
	R1-R3	41.4	16.2	12.3																																																								
	<p>③ こころのケア対策などによる自殺対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波からの復興に伴う生活環境の変化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による生活様式の変化によるストレスなどがこころの健康に影響を与え、自殺リスクの増加が懸念 <p>⇒ 市町村・関係機関・民間団体の連携強化と自殺対策の推進が必要</p>	<p>○ 自殺対策の推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 企業等におけるメンタルヘルスの取組促進</p> <div data-bbox="1238 948 1951 1023" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事業所への出前講座、メンタルヘルス対策の取組支援</p> </div> <p>■ 地域で見守り支え合う取組みを支援</p> <div data-bbox="1238 1102 1951 1139" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>傾聴ボランティアの育成と活動の支援</p> </div> <p>■ 自殺予防に取り組む関係者の人材を育成</p> <div data-bbox="1238 1219 1951 1289" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自殺対策に取り組む関係者の育成と連携強化のための相談支援実務者連絡会の開催</p> </div>	本庁予算																																																									



地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>8 スポーツ・文化(スポーツ・文化を楽しみ、一人ひとりが豊かな生活を送ることができる活力あふれる地域をつくります)</p> <div data-bbox="107 507 385 600"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> <p>自然減・社会減対策</p>	<p>① 住民が生涯にわたりスポーツに親しむ取組の推進</p> <p>② 教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ 2019™釜石開催などによるスポーツへの関心の高まり <p>⇒ 釜石シーウェイブスRFCなどと連携し、この高まりを生かした更なるスポーツ振興の推進が必要</p> <div data-bbox="663 501 1151 858">  <p>マリンスポーツ体験会 (R5.10)</p> </div>	<p>○ 三陸スポーツ推進事業 (経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会の創出 <div data-bbox="1236 309 1953 386"> <p>総合型スポーツクラブ等と連携したスポーツ体験会等の開催</p> </div> ■ プロスポーツチームと連携した「ラグビー県いわて」の推進 <div data-bbox="1236 501 1953 612"> <p>管内全体でのファン拡大に向け、イベント開催への協力等釜石シーウェイブスRFCとの連携を推進</p> </div> 	<p>地経費</p>
<p>自然減・社会減対策</p>	<p>③ 民俗芸能や若者の創意あふれる文化芸術活動など、地域の多様な文化や芸術活動を生かした地域活性化の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では、神楽・虎舞などの郷土芸能が数多く存在し、被災者の心の支えや地域の再生に大きく寄与 コロナ禍の活動制限により、文化芸術団体の活動が停滞 <p>⇒ 文化芸術に触れる機会や交流の場の創出、文化芸術に携わる人材の育成等による地域活性化の取組の推進が必要</p>	<p>○ 三陸の芸能を生かした地域活性化事業 (経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 文化芸術情報の発信と活動の担い手の育成支援 <div data-bbox="1236 995 1953 1072"> <p>芸術家との交流機会の創出、地域の文化芸術活動に親しむプログラムの実施</p> </div> <div data-bbox="1406 1085 1930 1455">  <p>三陸国際芸術祭</p> </div> 	<p>地経費</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
---------	-------	----------------	----

Ⅲ 産業 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域

<p>9 ものづくり産業（生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px;">8 観光がいの発展促進</div> <div style="background-color: #FF8C00; color: white; padding: 2px;">9 産業と観光振興の連携推進</div> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 2px;">17 パートナリングで目標を達成しよう</div> </div>	<p>① 中小企業の生産性と付加価値の向上による競争力の高いものづくり産業等の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少等により労働力不足が顕著となっている ⇒ 人材確保とともに省力化設備の導入や経営改善等による生産性向上を図ることが必要 <p>② 最新技術の活用や経営革新などによる水産加工業をはじめとするものづくり産業等の企業経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波により被災した事業者の86%が事業を再開したものの、エネルギー価格・物価高騰等により厳しい経営環境 水産加工業を中心とした食料品製造業は、沿岸地域の製造品出荷額の多くを占めており、製造業分野における地域の基幹産業となっている ⇒ 厳しい経営環境にある事業者が事業継続できるよう経営改善の支援が必要 ⇒ 主要な産業である水産加工業の経営力強化の支援、経営革新等の新たな事業に取り組む企業数の増加、経営を担う企業人材の育成が必要 	<p>○ 三陸水産加工業等支援事業費 一部新規（産業振興室）</p> <p>■ 水産加工業等の経営力強化</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> Pwc Japan グループと連携し、管内の水産加工業者及びその取引先である地元の飲食・宿泊・小売事業者等の企業経営に関する支援を実施 経営支援アドバイザーによる経営課題解決のための伴走支援の実施 一新 </div> <p>○ ものづくり産業経営力強化支援事業（産業振興室）</p> <p>■ ものづくり産業の経営力強化</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>商工団体との連携による「産業革新セミナー」の実施</p> </div>	<p>広域</p> <p>地経費</p>
---	--	---	----------------------


■ 岩手県の工業（経済センサス、工業統計）

	2010(H22)年		2020 (R2) 年			
	製造品出荷額 (万円)	従業者数(人)	製造品出荷額 /1人 (万円)	製造品 出荷額 (万円)	従業者 数(人)	製造品 出荷額 /1人 (万円)
県央	27,626,011	9,466	2,918	32,734,551	14,942	2,191
県南	140,396,061	49,645	2,828	174,417,354	53,054	3,288
沿岸	30,529,475	14,480	2,108	30,178,896	12,411	2,432
県北	11,356,170	8,048	1,411	12,099,095	7,232	1,673
県計	209,907,717	81,639	2,571	249,429,896	87,639	2,846

■ 沿岸圏域内主要業種別製造品出荷額（単位: 万円）

	2019 (R1) 年	2020 (R2) 年
圏域内計	33,110,474	30,178,896
食料品	9,011,975	8,485,530
鉄鋼	4,597,914	4,068,968
はん用	4,189,970	3,933,386
電子	2,747,431	3,933,057
窯業	3,807,457	3,430,144
木材	2,828,481	2,390,021

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>自然減・社会減対策</p> <p>DX</p>	<p>③ 三陸地域の産業を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期的な経営戦略を展開していくための専門人材が不足している ・ 中小の製造業においては、計画的な人材育成を行うことが困難な事業者もある <p>⇒ 専門的な知識を習得した大卒者やU・Iターン者等の人材が必要</p> <p>⇒ 現場リーダーなど生産の中核を担う人材や将来の後継者育成が必要</p> <p>・ 沿岸圏域の建設業では、就業者の高齢化が進み、離職者の増加が見込まれ、担い手の不足とそれに伴う技術力や生産性の低下が懸念</p> <p>⇒ 担い手の確保、生産性の向上に向けた取組が必要</p>	<p>○ 三陸水産加工業等支援事業費 <small>一部新規</small> (産業振興室)</p> <p>■ 専門人材確保の支援</p> <p>企業人材の確保育成のためのセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップを活用した求人活動 <small>新</small> ・ DX等専門人材確保 <p>○ 産業人材確保育成事業 <small>一部新規</small> (産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p>■ 人材育成の支援</p> <p>・ 宮古・下閉伊ものづくりネットワーク、気仙ものづくり産業人材育成ネットワークと連携した企業の人材育成や経営支援</p> <p>・ 商工労働観光部と連携したコネクタ関連産業への支援 (宮古地区) <small>新</small></p> <p>○ 建設業の担い手の確保・生産性の向上 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 生産性向上等の推進</p> <p>ICT 活用工事の発注拡大や週休二日工事の推進</p>	<p>広域</p> <p>地経費</p> <p>本庁予算</p>
	<p>④ 東日本大震災津波発災後の企業間のつながりや新たな交通ネットワークを生かした販路拡大と事業展開の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー価格・物価高騰等に伴う経営への影響について、「影響が継続」と回答した事業者は88% (全県 87%)、「コロナ前から債務の過剰感がある」と回答した事業者は26% (全県 23%) ・ 食の商談会の出展者は、コロナ禍の影響により減少しているが、新規出展や商談成立件数は一定数を確保 <p>⇒ 新規顧客の開拓や出荷売上を上げていくためには、販路展開の取組が大事であるため、企業訪問等の取組により、事業者に対して商談会等への出展を促していくことが必要</p>	<p>○ 三陸物産販路拡大支援事業 (産業振興室)</p> <p>■ 販路拡大の支援</p> <p>・ 盛岡南イオンでの物販による販路拡大機会の提供 (県北局と連携)</p> <p>・ 企業訪問による食の商談会への新規出展企業の拡大促進</p> <p>・ 専門家等を活用した広域での事業者間連携の促進</p> <p>○ 宮古地域食産業振興事業 (宮古地域振興センター)</p> <p>■ 販路拡大の支援</p> <p>・ 新たな交通ネットワークを活用した低コスト物流実証試験における飲食店等への販路展開・生鮮品輸送</p> <p>・ 釜石・大船渡地域への横展開の検討</p>	<p>地経費</p> <p>地経費</p>



地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																																																																																									
		○ 三陸けせん販路拡大支援事業 (大船渡地域振興センター) ■ 販路拡大の支援 商工団体や行政等がメンバーの「三陸けせん希望ストリート連絡協議会」との連携による企業ビジネスマッチング	地経費																																																																																									
10 雇用（働く場の創出と地域に就業・定着できる環境をつくります）  自然減・社会減対策	① 学生へのキャリア教育等による若者の定着促進 ・ 大手製造業の求人増加等により製造業などで新規雇用の確保が難しい状況 ・ 管内新規高卒者の県内就職状況は、管内就職率54%、県内就職率76%と全県よりも高い（令和4年度） ・ 沿岸地域の高卒者数は年々減少（令和4年度1,205人）、大学進学率は年々増加（令和4年度44%） ⇒ 有効求人倍率の推移など、沿岸地域の雇用情勢の把握に努め、関係機関が連携して地域雇用を促進する取組が必要 ⇒ 若者の地元企業への就職意識を高めるため、企業の魅力や発信力の向上、学生の管内企業への理解を深める取組が必要 ■ 高校卒業者数及び大学進学率 <table border="1" data-bbox="120 1054 1155 1222"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">高校卒業者数（人）</th> <th colspan="3">大学進学率</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸</td> <td>1,381</td> <td>1,288</td> <td>1,205</td> <td>40.1%</td> <td>41.7%</td> <td>44.0%</td> </tr> <tr> <td>(参考)全県</td> <td>10,876</td> <td>10,345</td> <td>10,017</td> <td>45.2%</td> <td>45.4%</td> <td>46.7%</td> </tr> </tbody> </table>		高校卒業者数（人）			大学進学率			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	沿岸	1,381	1,288	1,205	40.1%	41.7%	44.0%	(参考)全県	10,876	10,345	10,017	45.2%	45.4%	46.7%	○ 沿岸地域就職促進事業 (産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ) ■ キャリア教育による若年層の定着支援 ・ 学生の地元就職の促進、進学者の将来のUターン就職につなげるため、企業見学会や出前授業等の実施に係る学校・企業との調整、ガイドブックの作成、バス代支援等を実施 ・ 就業支援員等の学校・企業訪問による丁寧なフォローアップ ・ 学校・企業動向や雇用情勢の把握など、職安や市町村との定期的な情報交換の実施 ■ 管内新規高卒者の就職率 (単位：%) <table border="1" data-bbox="1196 963 2130 1238"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2年3月卒</th> <th colspan="2">R3年3月卒</th> <th colspan="2">R4年3月卒</th> <th colspan="2">R5年3月卒</th> </tr> <tr> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古</td> <td>63.7</td> <td>38.2</td> <td>78.4</td> <td>48.9</td> <td>73.8</td> <td>49.7</td> <td>72.2</td> <td>47.4</td> </tr> <tr> <td>釜石</td> <td>68.6</td> <td>57.1</td> <td>79.8</td> <td>68.1</td> <td>73.5</td> <td>52.0</td> <td>85.0</td> <td>66.3</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>76.7</td> <td>54.3</td> <td>75.9</td> <td>58.6</td> <td>78.4</td> <td>54.6</td> <td>73.3</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>管内計</td> <td>68.5</td> <td>47.3</td> <td>78.0</td> <td>56.5</td> <td>74.9</td> <td>51.6</td> <td>76.0</td> <td>54.2</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>68.5</td> <td></td> <td>71.4</td> <td></td> <td>74.1</td> <td></td> <td>73.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R2年3月卒		R3年3月卒		R4年3月卒		R5年3月卒		県内	管内	県内	管内	県内	管内	県内	管内	宮古	63.7	38.2	78.4	48.9	73.8	49.7	72.2	47.4	釜石	68.6	57.1	79.8	68.1	73.5	52.0	85.0	66.3	大船渡	76.7	54.3	75.9	58.6	78.4	54.6	73.3	53.3	管内計	68.5	47.3	78.0	56.5	74.9	51.6	76.0	54.2	全県	68.5		71.4		74.1		73.6		地経費
	高校卒業者数（人）			大学進学率																																																																																								
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																						
沿岸	1,381	1,288	1,205	40.1%	41.7%	44.0%																																																																																						
(参考)全県	10,876	10,345	10,017	45.2%	45.4%	46.7%																																																																																						
	R2年3月卒		R3年3月卒		R4年3月卒		R5年3月卒																																																																																					
	県内	管内	県内	管内	県内	管内	県内	管内																																																																																				
宮古	63.7	38.2	78.4	48.9	73.8	49.7	72.2	47.4																																																																																				
釜石	68.6	57.1	79.8	68.1	73.5	52.0	85.0	66.3																																																																																				
大船渡	76.7	54.3	75.9	58.6	78.4	54.6	73.3	53.3																																																																																				
管内計	68.5	47.3	78.0	56.5	74.9	51.6	76.0	54.2																																																																																				
全県	68.5		71.4		74.1		73.6																																																																																					
	・ 建設業の担い手の持続的、安定的確保への懸念 ⇒ 建設業への入職・定着を促進するため、小中学生・高生が「建設業を知る」、「興味を持つ」機会が必要	○ 建設業への入職・定着事業 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ) ■ 小中学生・高校生への建設業の理解促進 ・ 小中学生及び高校生を対象に現場見学会、出前講座の実施	地経費																																																																																									

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																									
<p data-bbox="114 197 371 229">自然減・社会減対策</p> <p data-bbox="212 272 277 304">DX</p>	<p data-bbox="405 197 1160 268">② U・Iターン、起業支援などによる移住・定住の促進</p> <ul data-bbox="443 272 1160 568" style="list-style-type: none"> 沿岸圏域の人口は、東日本大震災津波発生前（H23.3.1 現在）と比較すると22.6%減少しており、県全体（11.6%減少）より減少率が高い 令和4年度の管内市町村における県外からの移住者数及び相談件数は、令和3年度よりも増加 <p data-bbox="443 459 1160 568">⇒ 令和5年7月に設置した「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」での議論を踏まえ、地域の特性を踏まえた一層の社会減対策などの取組が必要</p> <div data-bbox="405 576 1160 970"> <p data-bbox="577 600 842 619">2018-2022 社会増減（沿岸圏域）</p> <p data-bbox="577 946 1151 965">出典：住民基本台帳人口移動報告年報データを沿岸局が加工</p> </div> <ul data-bbox="443 986 1160 1090" style="list-style-type: none"> ふるさといわて定住財団の沿岸局管内の登録企業数が少ないことなどにより、管内企業のマッチングフェアへの出展数が低調 <p data-bbox="719 1098 1160 1353">⇒ ふるさといわて定住財団への登録促進によるマッチング機会の提供、移住先事例の発信、復興支援などにより転入してきた人材の定住、県外に転出した人材のUターン就職の促進が必要</p>	<p data-bbox="1187 197 1937 268">○ いわて三陸地域連携移住定住促進事業 新規 (経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p data-bbox="1216 272 1937 568">■ 市町村との連携による移住定住の促進</p> <ul data-bbox="1261 312 1937 568" style="list-style-type: none"> 各種広報媒体を活用した情報発信、首都圏での移住PRセミナー、移住体験ツアー、移住者との意見交換会の開催による「情報発信の強化」 沿岸局と市町村との連携強化、移住コーディネーター交流会の開催による「支援体制の強化」 <p data-bbox="1187 611 1937 681">○ 三陸の魅力首都圏発信事業 新規 (産業振興室)</p> <p data-bbox="1216 686 1937 836">■ 管内市町村と連携した県外への情報発信強化</p> <p data-bbox="1261 726 1937 836">東京アンテナショップのPRモニターを活用し、動画放映等による沿岸地域の魅力、移住・定住に係る情報を発信</p> <p data-bbox="1187 879 1937 949">○ 地域おこし協力隊サポート事業 再掲 (経営企画部)</p> <p data-bbox="1216 954 1937 986">■ 隊員相互の連携・交流ネットワーク形成支援</p> <p data-bbox="1187 1066 1937 1136">○ 沿岸企業大学生採用力強化事業 (産業振興室)</p> <p data-bbox="1216 1141 1937 1251">■ 大学生の採用強化支援</p> <ul data-bbox="1261 1177 1937 1251" style="list-style-type: none"> 企業プレゼン向上勉強会や大学生との交流会の実施 <p data-bbox="1187 1289 1937 1359">○ 三陸水産加工業等支援事業費 一部新規 再掲 (産業振興室)</p> <p data-bbox="1216 1364 1937 1396">■ 専門人材確保の支援</p>	<p data-bbox="2033 197 2098 229">広域</p> <p data-bbox="2018 608 2114 639">地経費</p> <p data-bbox="2018 871 2114 903">地経費</p> <p data-bbox="2018 1054 2114 1086">地経費</p> <p data-bbox="2033 1286 2098 1318">広域</p>																									
<p data-bbox="129 1134 371 1153">■ Uターン就職支援者数</p> <table border="1" data-bbox="129 1161 689 1353"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値[累計]</td> <td>190人</td> <td>275人</td> <td>305人</td> </tr> <tr> <td>実績[累計]</td> <td>248人</td> <td>280人</td> <td>309人</td> </tr> <tr> <td>(参考)インターンシップ実績※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業所数</td> <td>34社</td> <td>18社</td> <td>17社</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>76人</td> <td>32人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table>			R2	R3	R4	目標値[累計]	190人	275人	305人	実績[累計]	248人	280人	309人	(参考)インターンシップ実績※				事業所数	34社	18社	17社	参加者数	76人	32人	29人	<p data-bbox="129 1362 689 1417">※大学生のインターンシップコーディネート事業を行っているNPO法人wiz、パナナ東北創生の実績</p>		
	R2	R3	R4																									
目標値[累計]	190人	275人	305人																									
実績[累計]	248人	280人	309人																									
(参考)インターンシップ実績※																												
事業所数	34社	18社	17社																									
参加者数	76人	32人	29人																									

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>自然減・社会減対策</p>	<p>③ 潜在的な労働力の掘り起こしや多様な形態の就業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴う労働力の不足への懸念 <p>⇒ 女性や子育て世代などが働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を増やし、管内企業の魅力を高めることにより、人口減少対策を進めていく必要</p>	<p>○ 働き方改革企業の普及促進 (産業振興室)</p> <p>■ 働きやすい職場環境づくりの促進</p> <p>管内企業の魅力を高めるため、「いわて働き方改革推進運動」、「いわて女性活躍企業認定」、「いわて子育てにやさしい企業認証」の普及を促進</p>	<p>本庁予算</p>
<p>11 水産業（漁業生産量の回復や水産物の高付加価値化により水産業を盛んにします）</p> 	<p>① 漁業の生産量回復・生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな養殖業としてサーモン養殖の事業化が進んでいる <p>⇒ 持続的なサーモン養殖の実現に向けて、養殖技術開発のほか、販路確保や付加価値向上等に向けた取組が必要</p>  <p>・ 漁場の磯焼け等により身入りが減少した「やせウニ」の有効利用に向けて、蓄養等の取組が展開</p> <p>⇒ ウニ資源の適正管理や海中林の造成による餌対策の指導のほか、有効利用に向けた技術開発や販売方法の検証が必要</p>	<p>○ 県産サーモン養殖確立支援事業 ^{一部新規} (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)</p> <p>■ 養殖生産効率化技術開発</p> <p>岩手大学との連携により、飼料給餌の効率化や海水適応能力の向上等に関する養殖技術を開発</p> <p>■ いわて県産サーモンPRキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内量販店・飲食店での県産サーモンのPRキャンペーン SNS を活用したハッシュタグキャンペーンを実施 ^新 <p>■ いわて県産サーモンの加工品等の開発支援</p> <p>サーモンの高次加工に係る講習会を開催するとともに、事業者による新商品開発を促進</p> <p>■ 養殖生産性向上調査 ^新</p> <p>餌料経費低廉化など、生産コストの削減に向けた調査を実施</p> <p>○ 持続的なウニ蓄養実施支援事業 (大船渡水産振興セ)</p> <p>■ ウニ蓄養事業の確立に向けた検証</p> <p>餌用コンブの最適保管方法及び単価向上に向けた販売方法の検証</p>	<p>広域</p> <p>地経費</p>



地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																								
<p>自然減・社会減対策</p>	<p>② 漁業担い手の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁業センサスによる管内就業者数（H30）は10年で36%減少したほか、高齢化が進行 ⇒ 新規就業者の確保や中核的漁業経営体※の育成に向けた取組が必要 ※ 年間販売額が1千万円以上の漁業経営体 <p>■ 管内漁業就業者数及び高齢者の割合</p> <table border="1" data-bbox="405 491 1160 600"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H25</th> <th>H30</th> <th>H30/H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管内漁業就業者数（人）</td> <td>8,276</td> <td>5,091</td> <td>5,295</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上の漁業就業者の割合（%）</td> <td>37%</td> <td>35%</td> <td>44%</td> <td>120%</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H25	H30	H30/H20	管内漁業就業者数（人）	8,276	5,091	5,295	64%	65歳以上の漁業就業者の割合（%）	37%	35%	44%	120%	<p>○ 漁業担い手確保・経営力強化支援事業（水産部）</p> <p>■ 新規漁業就業者確保・中核的漁業経営体育成</p> <p>圏域内の漁業に関する情報発信や漁業就業希望者への漁業体験の場の提供のほか、法人化等に関する勉強会を開催</p> <p>○ 浜の即戦力人材確保推進事業 新規 （宮古水産振興セ）</p> <p>■ 漁業担い手の確保・育成</p> <p>漁業関係団体の就業者受入情報を調査・可視化し、水産高校に提供することにより、着実な就業者確保を実現</p>	<p>地経費</p> <p>地経費</p>									
	H20	H25	H30	H30/H20																							
管内漁業就業者数（人）	8,276	5,091	5,295	64%																							
65歳以上の漁業就業者の割合（%）	37%	35%	44%	120%																							
<p>DX</p>	<p>③ 水産物の付加価値向上・販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災で被災した水産加工業者の89.4%が事業を再開 水産庁が実施した水産加工業者へのアンケートによると、売上を伸ばしていくために重要と考える取組として、原材料の確保や販路の回復等が挙げられている コロナ禍でEC（電子商取引）市場が拡大し、インターネットを利用した販売での食料消費が増加 ⇒ 原料確保対策や付加価値向上対策のほか、ECの強化対策が必要 <p>■ 水産加工業者における東日本大震災からの復興状況アンケート（R5・水産庁）※岩手県のみ抜粋</p> <table border="1" data-bbox="443 1094 954 1474"> <thead> <tr> <th colspan="2">■震災からの回復状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産能力が8割以上回復</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>売上が8割以上回復</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■売上が戻っていない理由</th> </tr> <tr> <td>原材料の不足</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>人材の不足</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>販路の不足・喪失</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■今後、売上を伸ばしていくために重要と考える取組</th> </tr> <tr> <td>原材料の確保</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>生産性向上・省人化の推進</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>人材の確保</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>販路の回復・開拓(国内)</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>	■震災からの回復状況		生産能力が8割以上回復	67%	売上が8割以上回復	42%	■売上が戻っていない理由		原材料の不足	29%	人材の不足	22%	販路の不足・喪失	14%	■今後、売上を伸ばしていくために重要と考える取組		原材料の確保	21%	生産性向上・省人化の推進	20%	人材の確保	17%	販路の回復・開拓(国内)	17%	<p>○ 水産加工業原料・人材確保支援事業 （水産部、宮古・大船渡水産振興セ）</p> <p>■ 加工原料確保・付加価値向上</p> <p>加工原料セミナーを開催するとともに、加工品開発を促進</p> <p>○ いわて三陸水産販路多角化事業 （水産部、宮古・大船渡水産振興セ）</p> <p>■ 販売力の強化</p> <p>ECによる販売力強化に向けた講習会を開催するとともに、水産加工業者のECサイトの改善を支援</p> <p>○ 宮古の水産物ブランド化推進事業 （宮古水産振興セ）</p> <p>■ 販路拡大・付加価値向上</p> <p>宮古の真鱈グルメフェアの開催や事業者等によるプロモーション活動支援のほか、河川遡上サクラマスのブランド化に向け原料特性を調査</p> <p>○ 川魚を活用した内水面の魅力再発見事業 （大船渡水産振興セ）</p> <p>■ 販路開拓・付加価値向上</p> <p>釣果アユの買取り試験や販路開拓を支援し、地域ブランドの確立を支援</p>	<p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p>
■震災からの回復状況																											
生産能力が8割以上回復	67%																										
売上が8割以上回復	42%																										
■売上が戻っていない理由																											
原材料の不足	29%																										
人材の不足	22%																										
販路の不足・喪失	14%																										
■今後、売上を伸ばしていくために重要と考える取組																											
原材料の確保	21%																										
生産性向上・省人化の推進	20%																										
人材の確保	17%																										
販路の回復・開拓(国内)	17%																										




地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<p>G X</p> <p>安全・安心</p>	<p>④ 漁港等の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化による施設の機能低下が懸念されるほか、近年の海洋環境の変化等により、自然災害の規模や頻度が高まっている <p>⇒ 漁港機能の保全及び強化が必要</p>  <p>大船渡魚市場</p> <p>流通基盤整備事業箇所（大船渡漁港）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水産物供給基盤機能保全事業 (水産部) <ul style="list-style-type: none"> ■ 漁港施設の機能保全 <ul style="list-style-type: none"> 防波堤・岸壁の鋼製施設など緊急度の高い施設の長寿命化対策 ○ 漁港施設機能強化事業、他 (水産部) <ul style="list-style-type: none"> ■ 漁港施設の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> 地震・津波に対応した防波堤・岸壁等施設の機能強化 ○ 水産物流通基盤整備事業 (水産部) <ul style="list-style-type: none"> ■ 水産物流通拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> 水産物の流通機能を強化する施設整備 ○ 水産環境整備事業、他 (水産部) <ul style="list-style-type: none"> ■ 水産資源の回復・増大のための漁場整備 <ul style="list-style-type: none"> 水産資源の生産力向上及び豊かな生態系回復・増大を図るための藻場造成 	<p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p> <p>本庁予算</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																																																						
<p>12 農業（地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業を盛んにします）</p>  <p>自然減・社会減対策</p> <p>DX</p>	<p>① 地域農業を担う経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波等の被災復旧で整備された再生農地では、営農組織等担い手による経営確立に向けた取組が進展 ⇒ 地域を牽引する認定農業者や営農組織等の経営安定化に向けた取組の促進が必要 沿岸地域の基幹的農業従事者数は、5年で約33%減少。一方、就農相談会の開催等により、直近5年間の新規就農者は155人（年平均31人）と目標を達成 ⇒ 地域農業の維持・発展に向け、新規就農者確保の取組の強化が必要 新規就農者の早期経営安定に向け、重点的な技術・経営指導の継続が必要 <table border="1" data-bbox="495 730 965 970"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="6">新規就農者数（人）</th> <th rowspan="2">定着率（%）</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>宮古</td> <td>3</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>79</td> <td>77.2</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>63</td> <td>79.6</td> </tr> <tr> <td>沿岸 計</td> <td>22</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>155</td> <td>79.2</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>245</td> <td>268</td> <td>312</td> <td>277</td> <td>291</td> <td>1,393</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	地域	新規就農者数（人）						定着率（%）	H30	R1	R2	R3	R4	計	釜石	2	3	3	3	2	13	90.9	宮古	3	26	31	8	11	79	77.2	大船渡	17	13	14	8	11	63	79.6	沿岸 計	22	42	48	19	24	155	79.2	全県	245	268	312	277	291	1,393	80.0	<p>○ いわて三陸多様な担い手確保・育成推進事業 新規（農林部）</p> <p>■ 認定農業者や営農組織等の経営発展支援</p> <p>営農組織の組織運営や高収益作物の導入等をテーマとする情報交換会の開催</p> <p>■ 新規就農者の確保</p> <p>SNS を活用した地域農業等の魅力の発信手法を学ぶ研修会の開催</p>	<p>地経費</p>
地域	新規就農者数（人）						定着率（%）																																																		
	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																			
釜石	2	3	3	3	2	13	90.9																																																		
宮古	3	26	31	8	11	79	77.2																																																		
大船渡	17	13	14	8	11	63	79.6																																																		
沿岸 計	22	42	48	19	24	155	79.2																																																		
全県	245	268	312	277	291	1,393	80.0																																																		
<p>DX</p> <p>■ 宮古地域園芸経営体育成事業</p> 	<p>② 地域特性を生かした農畜産物の産地力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規栽培者の確保に向けたほ場見学会の開催等により、主力園芸品目の作付面積は拡大傾向ではあるが、生産者の高齢化等によりその伸びは近年、鈍化 ⇒ 産地力強化に向け新規栽培者や労働力の確保による野菜中核農家の育成が必要 	<p>○ 宮古地域園芸経営体育成事業（宮古農林振興セ・農普セ）</p> <p>■ 野菜中核農家の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> パート向け農作業体験会や新規栽培者向けほ場見学会の開催 スマート農業技術の現地実証や研修会の開催 	<p>地経費</p>																																																						





地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
	<ul style="list-style-type: none"> 肉用牛は、高齢化・後継者不在等により、飼養頭数は漸減傾向。酪農は、生産性向上や乳質改善に向けた取組により、個体乳量は増加傾向にあるが、県平均を下回る状況 ⇒ 肉用牛では、規模拡大の推進と生産性向上に向けた取組が必要 酪農では、生産性向上や乳質改善に向けた飼養管理技術の向上が必要 <p>■ いわて三陸ジビエ産地創造事業</p>  <p>もみじ鹿羹焼き (モモ肉)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大槌町ではR2年からジビエ事業に取組中、沿岸圏域でのジビエ事業の拡大に向け、関係者を対象とした地域別勉強会等をR5年に開催 ⇒ ジビエ事業の円滑な運営や事業の横展開を図る取組の継続が必要 	<p>○ 宮古地域畜産経営体育成事業 (宮古農林振興セ)</p> <p>■ 畜産の収益性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮古版肉用子牛育成マニュアル活用研修会等の開催及び巡回指導 酪農の暑熱対策や搾乳機器衛生管理の指導 <p>○ いわて三陸ジビエ産地創造事業 (農林部)</p> <p>■ ジビエ事業の運営・横展開に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村別ジビエ事業化勉強会の開催 販路拡大に向けた商談会への参加や情報発信を支援 	<p>地経費</p> <p>地経費</p>
<p>GX</p> <p>■ 宮古地域産地直売パワーアップ事業</p> 	<p>③ 地域の農林水産物を生かした6次産業化や集落活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 産直施設の販売額は減少傾向であるが、SNSを活用した情報発信等の実証事業に取組む1施設では、売上や来客数は増加 ⇒ 実証事業の成果を横展開し、各産直施設での取組拡大が必要 <ul style="list-style-type: none"> 農林水産物の生産者の一部では、収益向上の手段として産直施設等における直接販売や加工品の開発等を推進 ⇒ 直接販売や加工品の販売等、収益向上に向けた生産者の取組を支援することが必要 	<p>○ 宮古地域産地直売パワーアップ事業 (宮古農林振興セ)</p> <p>■ 産直施設等の経営力向上支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家を活用した経営改善計画作成・実践支援 温室効果ガス削減の取組の商品への「見える化」表示による差別化 <p>○ 宮古・下閉伊「食財キングダム」スタートアップ事業 新規 (宮古農林振興セ、農普セ、水産振興セ)</p> <p>■ 農林水産物の消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内の飲食・加工業者、高校生を対象とした外食メニュー・商品開発販売企画コンペの実施 商品開発支援の実施 	<p>地経費</p> <p>地経費</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																		
<p>13 林業・木材産業（豊かな森林資源を生かした林業・木材産業を盛んにします）</p>  <p>自然減・社会減対策</p> <p>GX </p> <p>GX</p>	<p>① 意欲と能力のある林業経営体の育成と計画的な森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業従事者数は、横ばい傾向であるが、森林経営管理制度による森林整備の事業量が増加見込み <p>⇒ 森林整備を担う新規林業従事者の確保及び林業経営体の育成が必要</p> <table border="1" data-bbox="629 448 1162 632"> <caption>林業従事者数の推移</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域局計</td> <td>410</td> <td>407</td> <td>395</td> <td>404</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>県計</td> <td>1,835</td> <td>1,724</td> <td>1,705</td> <td>1,741</td> <td>1,705</td> </tr> </tbody> </table> <p>※林業労働力実態調査（森林整備課）</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国植樹祭の開催を契機に、県民の森林・林業に対する理解醸成が進展 <p>⇒ 全国植樹祭のレガシーを将来に引き継ぐため、森林・林業へ高まった関心を継続させることが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽した苗木や原木しいたけに対するシカ食害が深刻 <p>⇒ 材木の健全な成長や原木しいたけの安定した生産のためには、シカ食害対策が必要</p> <p>② 地域材の安定供給と利活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を脱し商店の改装や新規出店を計画している事業者がいるが、コスト高や耐久性への不安等の理由から木材の利用に消極的 <p>⇒ 民間商業施設等への木材利用に対する理解を深める取組が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 国・市町村の公共施設、公共工事における木材利用は、コストや耐久性等への不安から未だ低調 <p>⇒ 公共施設・公共工事への木材利用に対する理解醸成が必要</p>		H29	H30	R1	R2	R3	広域局計	410	407	395	404	411	県計	1,835	1,724	1,705	1,741	1,705	<p>○ 林業新規参入者スキルアップ事業（農林部）</p> <p>■ 担い手の確保・育成</p> <p>建設業者等の林業への新規参入を促進するため、スキルアップや各種制度に係る研修等を実施</p>   <p>○ 森林・林業の理解促進普及活動事業 新規（大船渡農林振興セ）</p> <p>■ 森林・林業に対する理解醸成</p> <p>大窪山森林公園などを活用した学習会等、森林・林業に触れて学ぶ機会を提供</p> <p>○ シカ被害対策（農林部）</p> <p>■ シカ被害対策事業の継続調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存簡易防護柵による防除効果について継続調査 ホダ場に設置した電気柵の防除効果に関する継続調査 <p>○ 宮古市中心市街地商業施設等木材利用促進モデル事業 新規（宮古農林振興セ）</p> <p>■ 木材利用に対する理解</p> <p>木材利用を促進するため、補助制度等を周知するセミナーや各種見学会の開催</p> <p>○ 釜石地域材普及啓発事業（農林部）</p> <p>■ 地域材の利用促進</p> <p>地域材利用の普及啓発のため、公共施設や民間施設へ木製ベンチ及びテーブルを作成、設置</p>	<p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p>
	H29	H30	R1	R2	R3																
広域局計	410	407	395	404	411																
県計	1,835	1,724	1,705	1,741	1,705																

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																								
	<p>③ 特用林産物の産地力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾しいたけは、原木調達環境の悪化や生産コストの上昇などの影響による植菌本数の減少等により生産量は横ばい傾向 生産意欲の減退による生産者の技術力の低下も懸念 <table border="1" data-bbox="481 438 1131 550"> <caption>乾しいたけ生産量(t)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>R30</th> <th>H1</th> <th>H2</th> <th>H3</th> <th>H4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸広域</td> <td>23,6</td> <td>23,2</td> <td>22,1</td> <td>22,3</td> <td>22,6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 生産された乾しいたけは主に JA に出荷。品質の優劣が販売価格に影響しにくく、販売価格は低迷 <table border="1" data-bbox="481 710 1131 821"> <caption>乾しいたけ価格の推移（日椎連市場価格：円）</caption> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>R30</th> <th>H1</th> <th>H2</th> <th>H3</th> <th>H4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,994</td> <td>3,967</td> <td>3,574</td> <td>3,464</td> <td>3,734</td> <td>4,156</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒ 生産技術の維持と生産者のモチベーションアップが必要 植菌本数が減少している中、生産量の減少を食い止めるため、単位収量の向上が必要</p>		R30	H1	H2	H3	H4	沿岸広域	23,6	23,2	22,1	22,3	22,6	H28	R30	H1	H2	H3	H4	4,994	3,967	3,574	3,464	3,734	4,156	<p>○ いわて三陸原木しいたけ元気な産地づくり事業 (宮古農林振興セ)</p> <p>■ 原木しいたけの産地力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾しいたけ品評会及び生産技術交流会の開催 産直施設を核とした販売促進及び消費拡大イベントの開催  	<p>地経費</p>
	R30	H1	H2	H3	H4																						
沿岸広域	23,6	23,2	22,1	22,3	22,6																						
H28	R30	H1	H2	H3	H4																						
4,994	3,967	3,574	3,464	3,734	4,156																						

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																																										
<p>14 観光（多様な資源と新たな交通ネットワークを生かした観光産業を盛んにします）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくも責任 つかり責任</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">DX</p>	<p>① 地域資源と新たな交通ネットワークを生かした観光地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内の観光客入込数は、R元年に震災前（H22年）と同水準まで回復したが、R4年は前年度より増加したものの新型コロナ感染拡大の影響により震災前の65%に減少 R4年の東日本大震災津波伝承館の来館者数・団体予約数ともに過去最高を記録 <p>⇒ 三陸沿岸道路や内陸横断道路等の新たな交通ネットワークを生かし、三陸鉄道やジオパーク等の沿岸ならではの観光施設、震災伝承施設などの活用により、首都圏等からの誘客・周遊を促進する取組が必要</p> <p>■ 圏域別入込客数（延べ人数）（千人回）</p> <table border="1" data-bbox="416 724 1151 932"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>H22年</th> <th>R元年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R元年比</th> <th>H22年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全県</td> <td>28,956</td> <td>29,213</td> <td>15,601</td> <td>18,333</td> <td>62.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>8,871</td> <td>9,681</td> <td>4,581</td> <td>5,417</td> <td>56.0%</td> <td>61.1%</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>11,394</td> <td>11,511</td> <td>6,100</td> <td>7,087</td> <td>61.6%</td> <td>62.2%</td> </tr> <tr style="background-color: #ffff00;"> <td>沿岸</td> <td>5,823</td> <td>5,350</td> <td>3,173</td> <td>3,783</td> <td>70.7%</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>県北</td> <td>2,868</td> <td>2,670</td> <td>1,747</td> <td>2,045</td> <td>76.6%</td> <td>71.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（出典：令和4年版岩手県観光統計概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 三陸沿岸地域では、震災や台風災害の復旧復興事業でインフラ整備が近年急速に進んだが、その整備効果や役割、必要性などの周知や情報発信が重要 <p>⇒ 観光振興施策とも連携することにより、公共事業におけるインフラ整備への理解醸成、インフラの魅力や高い技術力などを広く発信することが必要</p>	圏域	H22年	R元年	R3年	R4年	R元年比	H22年比	全県	28,956	29,213	15,601	18,333	62.8%	63.3%	県央	8,871	9,681	4,581	5,417	56.0%	61.1%	県南	11,394	11,511	6,100	7,087	61.6%	62.2%	沿岸	5,823	5,350	3,173	3,783	70.7%	65.0%	県北	2,868	2,670	1,747	2,045	76.6%	71.3%	<p>○ 三陸誘客交流人口拡大事業（震災伝承・防災学習・SDGs等を核とした誘客促進）新 （産業振興室）</p> <p>■ 北海道からの誘客促進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 胆振地域及び札幌市等の旅行エージェントを対象としたモニターツアーの実施 三陸鉄道(株)との連携による胆振地域及び札幌市等の旅行エージェントや教育関係者を対象としたプロモーションの実施 ワーケーション等の先進事例の発信 新 インフラツーリズムの推進 新 </div> <p>■ 首都圏等からの誘客促進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波伝承館をゲートウェイとし、三陸鉄道等を中心とした沿岸地域を周遊する旅行商品の造成、催行支援 三陸鉄道(株)やバス会社等との連携による首都圏旅行エージェントを対象としたツアー造成プロモーションの実施 </div> <p>○ インフラツーリズムデジタルコンテンツ作成事業 新規 （宮古土木セ、岩泉土木セ）</p> <p>■ インフラを活用した誘客促進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>インフラ施設への理解を深め、その魅力を高める見せ方をしていくため、デジタルコンテンツ（施工段階のタイムラプス、水門閉鎖状況のAR等）の作成</p> </div>	<p>地経費</p> <p style="text-align: right; margin-top: 200px;">地経費</p>
圏域	H22年	R元年	R3年	R4年	R元年比	H22年比																																							
全県	28,956	29,213	15,601	18,333	62.8%	63.3%																																							
県央	8,871	9,681	4,581	5,417	56.0%	61.1%																																							
県南	11,394	11,511	6,100	7,087	61.6%	62.2%																																							
沿岸	5,823	5,350	3,173	3,783	70.7%	65.0%																																							
県北	2,868	2,670	1,747	2,045	76.6%	71.3%																																							

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																																																																																																				
<p style="text-align: center;">DX</p>	<p>② 震災学習を核とした教育旅行の誘致、滞在型旅行商品の造成等に向けた観光情報発信力の強化や受入態勢の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4年の県内の教育旅行の入込校数は震災前（H22年）より5倍増加 ・ 隣県からの入込は、減少に転じているが、関東地方からの入込は、コロナ禍前（R元年）を上回っているほか、北海道からの入込も、コロナ禍前（R元年）の水準に戻りつつあり、遠隔地からの入込が増加 <p>⇒ 遠隔地からの入込増加など、教育旅行がコロナ禍前の状況に戻りつつあり、震災学習を核とした教育旅行の北海道からの誘客等の取組が必要</p>	<p>○ 三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルとの連携促進事業 (産業振興室)</p> <p>■ 三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルを活用した交流人口の拡大</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジオトレイルスタンプラリーの実施(県北局と連携) ・ 三陸ジオパーク推進協議会と連携した地域ブロック等の活動 </div> <p>○ 広域観光推進事業 (産業振興室)</p> <p>■ 交通ネットワークの活用による誘客</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道胆振総合振興局との相互観光プロモーションの実施(むろらん港まつり、宮古市産業まつり等) ・ 新しい観光列車「ひなび」の活用など、釜石線を活用した観光振興(釜石線沿線広域エリア活性化委員会(JRとの連携)) ・ 県外での観光PR発信(ハイウェイフェスタとうほく、いぶりフェア等) ・ 情報誌やSNS等のメディアを活用した情報発信 </div> <p>○ 三陸観光キャンペーン・イベント展開事業 一部新規 (産業振興室)</p> <p>■ 道の駅等を核とした誘客・周遊促進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅、観光施設等との連携によるSNSを活用した観光キャンペーンの展開 ・ 三陸鉄道40周年を契機とした誘客促進 新 ・ リニューアルオープンした陸前高田オートキャンプ場、滝観洞を活用した誘客促進 新 ・ 気仙沼地域と連携した誘客促進 </div>	<p>地経費</p> <p>地経費</p> <p>地経費</p>																																																																																																				
<p>■教育旅行広域圏別入込数 (単位: 延べ校、人回)</p>																																																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H22年</th> <th colspan="3">R元年</th> <th colspan="3">R3年</th> <th colspan="3">R4年</th> </tr> <tr> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸局</td> <td>110</td> <td>10,617</td> <td>5.5%</td> <td>306</td> <td>17,634</td> <td>8.2%</td> <td>588</td> <td>31,829</td> <td>11.8%</td> <td>537</td> <td>28,694</td> <td>10.7%</td> </tr> <tr> <td>盛岡局</td> <td>1,333</td> <td>79,346</td> <td>41.4%</td> <td>1,603</td> <td>100,491</td> <td>47.0%</td> <td>2,122</td> <td>112,212</td> <td>41.7%</td> <td>2,132</td> <td>121,532</td> <td>45.2%</td> </tr> <tr> <td>県南局</td> <td>998</td> <td>98,573</td> <td>51.4%</td> <td>1,261</td> <td>91,593</td> <td>42.8%</td> <td>1,742</td> <td>119,808</td> <td>44.5%</td> <td>1,979</td> <td>134,827</td> <td>50.1%</td> </tr> <tr> <td>県北局</td> <td>13</td> <td>3,300</td> <td>1.7%</td> <td>73</td> <td>4,067</td> <td>1.9%</td> <td>103</td> <td>5,085</td> <td>1.9%</td> <td>94</td> <td>5,558</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,454</td> <td>191,836</td> <td></td> <td>3,243</td> <td>213,785</td> <td></td> <td>4,555</td> <td>268,934</td> <td></td> <td>4,742</td> <td>290,611</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典: いわたの観光統計「教育旅行客・外国人観光客の入込動向」)</p>													H22年			R元年			R3年			R4年			校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	沿岸局	110	10,617	5.5%	306	17,634	8.2%	588	31,829	11.8%	537	28,694	10.7%	盛岡局	1,333	79,346	41.4%	1,603	100,491	47.0%	2,122	112,212	41.7%	2,132	121,532	45.2%	県南局	998	98,573	51.4%	1,261	91,593	42.8%	1,742	119,808	44.5%	1,979	134,827	50.1%	県北局	13	3,300	1.7%	73	4,067	1.9%	103	5,085	1.9%	94	5,558	2.1%	合計	2,454	191,836		3,243	213,785		4,555	268,934		4,742	290,611	
	H22年			R元年			R3年			R4年																																																																																													
	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア																																																																																											
沿岸局	110	10,617	5.5%	306	17,634	8.2%	588	31,829	11.8%	537	28,694	10.7%																																																																																											
盛岡局	1,333	79,346	41.4%	1,603	100,491	47.0%	2,122	112,212	41.7%	2,132	121,532	45.2%																																																																																											
県南局	998	98,573	51.4%	1,261	91,593	42.8%	1,742	119,808	44.5%	1,979	134,827	50.1%																																																																																											
県北局	13	3,300	1.7%	73	4,067	1.9%	103	5,085	1.9%	94	5,558	2.1%																																																																																											
合計	2,454	191,836		3,243	213,785		4,555	268,934		4,742	290,611																																																																																												

地域振興プラン	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考																								
<p>15 社会基盤の活用（整備が進む社会基盤を産業振興に生かします）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と経済活動の基盤づくり</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 小規模事業者の持続的発展による地域活性化</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">DX</p>	<p>① 新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 内陸と沿岸を結ぶ高規格道路の整備が進展 <p>⇒ 地域振興に資する更なるインフラ整備と活用が必要</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<p>○ 物流や交流を支える道路整備 (土木部、大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 物流の基盤を支える道路整備や観光地へのアクセス性を向上する道路整備の推進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>道路改良等 (主) 釜石遠野線 中村～青ノ木 (釜石市) (国) 455号 乙茂 (岩泉町) (国) 107号 白石峠 (大船渡市・住田町)</p> </div> <p>○ インフラツーリズムデジタルコンテンツ作成事業 新規 [再掲] (宮古土木セ、岩泉土木セ)</p> <p>■ インフラを活用した誘客促進</p>	<p>本庁予算</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</p>																								
	<p>② 物流の高度化に向けた港湾機能の強化とポートセールスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期化する世界的な物流混乱などの影響により港湾の利用は伸び悩み <p>⇒ 港湾の利活用促進に向けた取組が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響を受けていたクルーズ船の寄港が再開、拡大 <p>⇒ 寄港拡大に向けた取組が必要</p> <p style="margin-top: 10px;">■ コンテナ貨物取扱数（実入り）の推移（TEU）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年</th> <th>R1年</th> <th>R2年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石港</td> <td>5,452</td> <td>6,782</td> <td>5,737</td> <td>5,357</td> <td>5,195</td> </tr> <tr> <td>大船渡港</td> <td>1,854</td> <td>2,773</td> <td>2,386</td> <td>3,352</td> <td>2,995</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,306</td> <td>9,555</td> <td>8,123</td> <td>8,709</td> <td>8,190</td> </tr> </tbody> </table>		H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	釜石港	5,452	6,782	5,737	5,357	5,195	大船渡港	1,854	2,773	2,386	3,352	2,995	計	7,306	9,555	8,123	8,709	8,190	<p>○ 港湾機能の充実とポートセールスの推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 港湾取扱貨物量の拡大</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>関係市と連携し船社及び荷主企業へのポートセールスを推進</p> </div> <p>■ クルーズ船寄港拡大に向けた取組の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>関係市と連携しクルーズ船社へのポートセールスを推進</p> </div> <p>○ 三陸誘客交流人口拡大事業 (国内外からの広域的な誘客周遊促進) 一部新規 [再掲] (産業振興室)</p> <p>■ 宮古港・大船渡港を起点としたクルーズ船乗客の広域周遊促進</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>クルーズ船（宮古港）</p> </div>	<p>本庁予算</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</p>
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年																						
釜石港	5,452	6,782	5,737	5,357	5,195																						
大船渡港	1,854	2,773	2,386	3,352	2,995																						
計	7,306	9,555	8,123	8,709	8,190																						